

(海洋研修3) いかだ作り～遊び

1 ねらい

仲間と協力していかだ作りに取り組み、海に漕ぎ出して海の自然の楽しさを味わう。

2 対象 小学4年生～

3 実施可能時期 6月～9月

4 所要時間 180分

5 乗艇人数 一艇につき6人(※最大8人まで) 最大10艇まで可

6 準備物

(1) 各団体

- ・全体……ゴミ袋(ロープ回収用, 各市町村指定の物で可) ※各団体で持ち帰り
- ・班(1艇)……はさみ, ロープ1巻(PPロープ6mm×200m)
- ・個人……濡れてもよい服装(水着), 着替え, バスタオル, マリンシューズまたは濡れてもよい靴

(2) 自然の家

- ・全体……ライフジャケット(乗艇人数分), 救助艇
- ・班(1艇)……竹(10本), チューブ(4本), コンパネ(2枚), かい(6本)

7 経費 無料

8 流れ

(1) 竹10本を, 右図のように並べる。

(※以下, 右図の上段の4本の竹を『上の竹』, 中段の4本の竹を『下の竹』, 一番下の2本の竹を『土台の竹』と呼ぶ)

なお, 上の竹と下の竹は等間隔に並べる。

(2) ロープを大人の腕の長さで「2ひろ」

の長さに切る(子どもは「3ひろ」)。

…16本

(3) 上下の竹の交差しているところを, ロープで固定する。

- ・切ったロープを真ん中から折り, 2本にする。そのロープを下図①～⑦の手順で結びつけ, 上と下の竹を固定する(交差している16カ所を本結びで結びつける)。



①下の竹にロープの輪の方を通す。



②輪の中にロープの端を通し引っ張る。



③交差している上の竹にロープをかける。



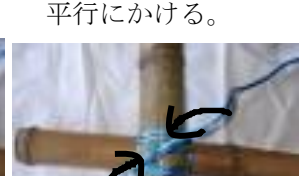
④下の竹の下方からロープを通し上の竹に平行にかける。



⑤元の位置に戻ったら上下の竹の間をロープで強く締める。

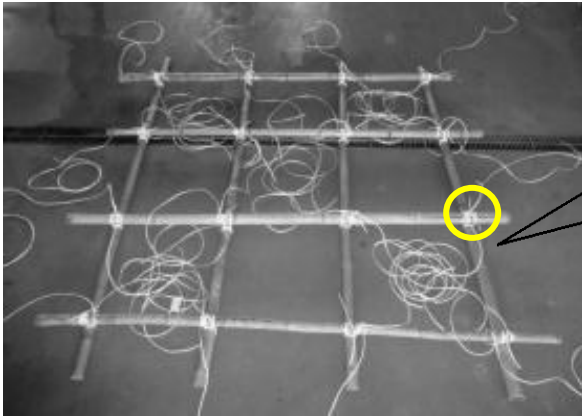


⑥ロープのひとつを残し, もう一方を反対側にまわす。



⑦上の竹の上で両方のロープを本結びし, 長い分は切る。

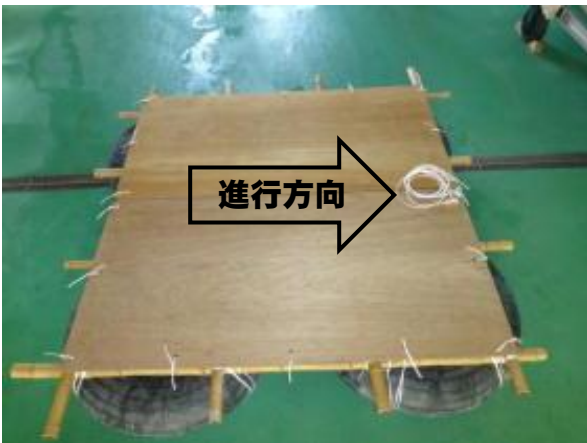
- (4) 2本の土台の竹を取り除く。
 (5) チューブ4本を竹に結びつける。
 ・ロープを大人の腕の長さで「3ひろ」の長さに切る（子どもは「4ひろ」）。…16本



・切ったロープを真ん中から折り、上の竹に通す。2本にしたロープの一本を折り曲げ、枠の中に入れる。もう一本は、枠の外に置く（全部で16カ所）。



- (6) 上の竹にチューブを4本のせる。チューブ1本につき4カ所をロープで結ぶ。結ぶ時には、チューブを軽くひざで押さえながら、二人一組で向かい合って結ぶとバランス良くできる。余分なロープは、はさみで切る。
 (注意：チューブを傷つけないよう、刃先を上に向けながら行う)



- (7) チューブを付け終わったら、ひっくり返す。コンパネ2枚を上のにせ、穴の開いているところを先ほど切った余分なロープで結ぶ。その後、長めのロープを進行方向の中央に結ぶ。（救助・けん引用）



- (8) かいをコンパネの中央にまとめて置いて

完成！！

- (9) 濡れてもよい服装になり，ライフジャケットを着用する。
- (10) 陸上で漕ぐ練習をする。
- (11) 全員で海岸（スロープ）にいかだを運ぶ（自然の家職員の補助・引率者の協力が必要）。このとき，チューブがパンクするのでいかだは引きずらない。また，スロープは滑るので慎重に運ぶ。
- (12) 全員で力を合わせ，目標（海上に浮かぶ旗）に向かって漕ぐ。
- (13) 終了の合図で岸に着ける（自然の家職員の補助・引率者の協力が必要）。岸壁にいかだを揚げ，自然の家の職員がロープを切る。切ったロープは，持参したゴミ袋に，全員で協力して片付ける（ゴミは持ち帰り）。
- (14) 引率者が指導し，水洗いした，かい，コンパネ，竹，チューブを指示された場所に返納する。
- (15) ライフジャケットを水道水で洗い，指示された場所に広げて干す。
- (16) 挨拶をした後，所に戻りシャワーで体を洗い，着替える。
※日帰り利用の場合は艇庫において体を洗う。

<いかだ遊びの様子>



9 その他

- ・活動中は自然の家職員が救助艇で海上待機し，緊急時に備える。